

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 8 日

事務事業名		いばらきっ子郷土検定事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	030301000650
政策体系	総合計画の施策名	0303 青少年の健全育成					単独/補助	単独	所属課	090601
	政策名	03	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				主要事業	対象外		生涯学習課
	施策名	03	青少年の健全育成				市長マニフェスト	対象外		
	基本事業名	01	青少年活動の充実				未来PJ事業	対象外	グループ	生涯学習G
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し（年度～）			
							↳ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

手 段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	民間シンクタンクによる調査で、茨城県の魅力度が全国最下位という結果を受け、「楽しみながら茨城県の伝統や文化等を学ぶことができるよう、平成25年度より茨城県独自の郷土検定を実施し、「子どもたちの郷土への愛着や誇りを育む」ことを目的として、県内の全中学2年生を対象に行っている。 生涯学習課担当者と学校教育主管課担当者(桜川市では教育指導課)で連携して事業実施にあたっている。 【主な内容・平成27年度事業実績】 ○市町村担当者会議への出席 ○桜川市問題の作成 ○桜川市大会の実施 ○県大会への参加	○県生涯学習課による市町村担当者会議への出席 ○桜川市大会実施に際しての桜川市問題作成 ○市内中学校への事業周知・協力依頼 ○桜川市大会実施事務(日程調整・中学校への問題配付・取りまとめ) ○県大会出場事務(県大会出場校報告・出場校との連絡調整・大会随行)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 （担当者の活動内容）	④活動指標 （活動量を表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
○市町村担当者会議への出席 ○桜川市大会実施に際しての桜川市問題作成 ○市内中学校への事業周知、協力依頼 ○桜川市大会実施事務 ○県大会出場事務	検定実施回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 （誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標 （対象の大きさを表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
市内中学2年生	市内中学2年生生徒数	人	439.00	406.00	380.00	360.00	340.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 （この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標 （対象における意図の達成度を表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
子どもたちの郷土への愛着や誇りを育む きっかけをつくる	これから桜川市に住みたいと思う生徒の割合	%	63.90	66.99	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	0	0	0	0
			事業費計（A）	千円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
		述べ業務時間	時間	126.00	123.45	120.00	120.00	120.00	
		人件費計（B）	千円	366	358	348	348	348	
トータルコスト（A）+（B）			千円	366	358	348	348	348	

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)				28年度事業費 予算(千円)			
			合 計	0			合 計	0

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業				

事務事業名	いばらきっ子郷土検定事業	事務事業No.	30301000650	所属課	生涯学習課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
民間シンクタンクによる調査で、茨城県の魅力度が全国最下位という結果を受け、「楽しみながら茨城県の伝統や文化等を学ぶことができるよう、平成25年度より茨城県独自の郷土検定を実施し、子どもたちの郷土への愛着や誇りを育む」ことを目的として、県内の全中学2年生を対象に行っている。当初平成25年度から27年度までの期間限定事業であったが、予想以上に反響が大きいため、平成28年度の継続が決定している。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
県大会に出場した代表生徒からは、自分たちの住む地域や茨城県のことを知るいい機会となったと好評である。 県大会出場に際し、代表生徒の選出について学校行事や部活動の調整などで苦慮するとの意見があった。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
	検定を通して市内の中学生がより一層郷土に愛着を抱くような問題を作成するために、協力課に問題提供を依頼し、学校教育主管課の主導主事に中学2年生にとって適切なレベルの問題かの確認を依頼する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	☒ 結びついている 青少年（中学2年生）を対象としており、3-（3）-①青少年活動の充実につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	☒ 妥当である 県事業として実施しており、かつ若い世代に地域のことを知ってもらい、郷土に関する関心を高めてもらうための事業であり、市として関与することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	☒ 向上余地がある 桜川市大会では、県問題（県作成）25問・桜川市問題（桜川市で作成）25問を解く形になる。市内の対象者が検定を通して茨城県にさらに親しみをもってもらえるような桜川市問題を作成することで、成果の向上を図ることができる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	☒ 影響有 県主催事業であり、市で廃止・休止をすることはできない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む))
	(他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない 類似する事業がないから。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	☒ 削減余地がない 社会教育主管課(桜川市では生涯学習課)、学校教育主管課(桜川市では教育指導課)でそれぞれ1名ずつで担当しており、これ以上の人員削減は見込めない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
☒ 公正・公平である 県による対象者設定があり、その中で市内の全中学校が市大会に参加しているため、公平・公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇨	事業が始まって3年目ということもあり、行政側も学校側もスムーズに事業がすすめられた。事後アンケート【問6】「これからも桜川市に住みたい」と回答した生徒の割合が昨年に比べ増加しており、ある程度の成果は得られたと感じている。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☐ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☒ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑤ コスト削減優先度評価結果 ③																						
市内の対象者が検定を通して茨城県にさらに親しみをもってもらえるような桜川市問題を作成するために、協力課に問題提供を依頼し、学校教育主管課の主導主事に中学2年生にとって適切なレベルの問題かの確認を依頼する。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 ☒ B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 ☐